

平成 15 年度 外務省委託スキーム別評価 「国際緊急援助隊評価」
専門家チーム 派遣専門家に対する質問票

平成 16 年 1 月 9 日
外務省国際緊急援助隊評価調査チーム

今般、効果的・効率的な援助の実施のための評価事業の一環として、外務省は、「国際緊急援助隊」派遣制度を対象にプログラムレベル評価（スキーム別評価）を行うこととなりました。この評価の目的は、第一に「国際緊急援助隊」について総合的かつ包括的に評価し、今後のより効果的な実施の参考とするための教訓・提言を得ること、第二に評価結果を公表し説明責任を果たすことです。

この評価の一環として、外務省調査チームは 2003 年 6 月 12 日から 6 月 19 日にかけて実施されました「アルジェリア国における地震災害に対する国際緊急援助隊（専門家チーム）」派遣をケーススタディとして取り上げ、1 月 9 日～16 日の日程でアルジェリアの現地調査を行い、情報収集を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮でございますが、以下の質問への回答にご協力をお願い申し上げます。回答に際しましては、「アルジェリア国における地震災害に対する国際緊急援助隊（専門家チーム）」に参加されました下記の 4 名の方々に個別にご記入いただきたくお願い申し上げます。

ご記入頂きました質問票回答については、まこと勝手ながら **1 月 23 日**までにファックスまたは E-mail にて本調査チーム事務局あてにお送り頂ければ幸いです。場合によっては、面談あるいは電話にて事実確認及び補足情報についてインタビューを行いたいと考えております。その際は事務局より別途ご連絡申し上げますが、重ねてご協力賜りますようお願い申し上げます。なお、回答結果は本件評価調査の参考とさせていただくものであり、ご回答者の個人名を公表することはありませんので、念のため。

質問票の記入を希望する対象者

- (1) 国土交通省国土技術政策総合研究所総合技術政策研究センター評価システム研究室
犬飼瑞朗 室長
- (2) 独立行政法人建築研究構造研究グループ 斉藤大樹 上級研究員

回答者

氏名：

役職：

所属：

質問票回答ご返送先：

外務省国際緊急援助隊評価調査チーム事務局（担当：齊藤）
オーバーシーズ・プロジェクト・マネージメント・コンサルタンツ（株）
TEL: 03-3293-3331, FAX: 03-3292-2847; E-mail: saito@opmac.co.jp

Q1. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて「国際緊急援助隊」の派遣時における体制を整理し、専門家チームにおいては以下のとおり実施すると理解しております。ついては、派遣時(アルジェリア地震 専門家チーム派遣)における専門家チームの実施状況について、教えてください。

(派遣時(被災国での活動))

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				備考
		A	B	C	D	
専-1	到着時 ①空港到着時、在外大使館、JICA 職員等との顔合わせ ②現地受け入れ機関との調整					
専-2	活動中 ①状況把握(被災状況、チーム活動の安全性、二次災害の危険度、他の援助機関の活動状況、被災地の一般的情報(宗教・地理・気象)など) ②活動報告を随時、在外公館に提出 ③広報は、団長が主体となって行う。現地報道振りを本部へ報告 ④撤収について現地実施機関、在外公館と協議・調整 ⑤撤収決定 ⑥撤収作業 ⑦帰国に際し被災国政府へ活動報告					
専-2	活動中 ①状況把握(被災状況、チーム活動の安全性、二次災害の危険度、他の援助機関の活動状況、被災地の一般的情報(宗教・地理・気象)など) ②活動報告を随時、在外公館に提出 ③広報は、団長が主体となって行う。現地報道振りを本部へ報告 ④撤収について現地実施機関、在外公館と協議・調整 ⑤撤収決定 ⑥撤収作業 ⑦帰国に際し被災国政府へ活動報告					

Q2. 現地で活動をされるにあたり、国際緊急援助隊制度に対してのご意見を教えてください。

- 他国と比較して日本の国際緊急援助隊制度の利点はありましたか？
- 国際緊急援助隊制度の制度上の問題点・改善点はありましたか？

Q3. その他、国際緊急援助隊制度に関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

以上